

R7年度 児童指導員科(発達障害支援者養成) 特定研修生の受入について

出願期間	第1期 2025/1/1～2/28	第2期 2025/4/1～5/31	第3期 2025/6/1～7/31
面接日	3月14日(金) ※別日程調整可	6月20日(金) ※別日程調整可	8月22日(金) ※別日程調整可
出願資格	医療、教育、福祉分野において発達障害支援に携わる現職者 (所属長からの推薦が必要)		
定員	6名(定員になり次第終了)		
研修期間	2025/9/1～2026/3/31 ※うち10/1～2/28を必修期間とする		
選考方法	研修計画書に基づいた面接		
選考料	なし		
研修費用	教材費(実費負担)		

令和7年度 発達障害支援専門職研修課程(特定研修生)実施要項

学院児童指導員科(発達障害支援者養成)において、特定研修生として受講を希望する者は、次により申込みをしてください。

- | | |
|-----------|--|
| 1、受講資格 | ・発達障害支援に携わる医療、教育、福祉分野における現職者
・所属長からの推薦がある者 |
| 2、定 員 | 6名 |
| 3、研修期間 | 2025/9/1～2026/3/31
※うち10/1～2/28までを必修期間とする |
| 4、申込期間 | ・2025年1月1日～2月28日(第1期)
・2025年4月1日～5月31日(第2期)
・2025年6月1日～7月31日(第3期)
※定員になり次第、終了 |
| 5、提 出 先 | 郵送(書留)または持参により提出してください。(当日消印有効)
〒359-8555
埼玉県所沢市並木 4-1
国立障害者リハビリテーションセンター
学院 事務室 |
| 6、提出書類等 | ①特定研修生受入願
②履歴書
③健康診断書
④研修計画書
⑤勤務証明書
⑥推薦書(所属長) |
| 7、選考方法 | 研修計画書に基づいた面接 |
| 8、選 考 料 | なし |
| 9、研 修 費 | 実費負担(教材費として5万円程度)
※残金は修了時に返金 |
| 10、問い合わせ先 | 〒359-8555
埼玉県所沢市並木 4-1
国立障害者リハビリテーションセンター
学院 児童指導員科
電話:04-2995-3100(内線2626) |

(別紙)

令和7年度 発達障害支援専門職研修課程(特定研修生)実施要項

2025.6.30現在

科目分類	履 修 科 目	担当講義	講師名	履 修 時 間						
				講義	演習	実習等	合計			
発達障害福祉論	社会福祉行政論	児童福祉 障害福祉	児童福祉専門官（こども家庭庁） 田中 正博（国立のぞみの園）	4 4			8			
	医学概論		江藤 文夫（国立障害者リハビリテーションセンター）	4			4			
	リハビリテーション概論	リハビリテーションとQOL	阿久根 徹（国立障害者リハビリテーションセンター）	2			12			
		ICF概論	世古 裕子（国立障害者リハビリテーションセンター）	2						
		行動障害	小石 誠二（川崎こども心理ケアセンターかなで）	8						
	生命倫理学	出生診断、生殖補助医療	岡田 英己子（東京都立大学）	8			16			
		自己決定権、インフォームドコンセント	学院講師	8						
	発達障害医学		本田 秀夫（信州大学）	16			16			
	発達障害福祉史	世界史	岡田 英己子（東京都立大学）	12			24			
		日本史	富永 健太郎（日本社会事業大学）	12						
	看護概論		櫻井 初子（訪問看護ステーション てのひら）	16			16			
	乳幼児保健論		中嶋 彩（ネストやまなし）	16			16			
	重症心身障害論		櫻井 初子（訪問看護ステーション てのひら）	8			8			
	知的障害者福祉論		加賀 晃樹（国立障害者リハビリテーションセンター）	16			16			
	発達障害者福祉論		渡邊 文人（国立障害者リハビリテーションセンター） 宇山 秀一（国立障害者リハビリテーションセンター） 石坂 務（国立障害者リハビリテーションセンター） 与那城 郁子（国立障害者リハビリテーションセンター） 中林 睦美（国立障害者リハビリテーションセンター）	16			16			
精神障害者保健福祉論		荒田 智史（FLATSヒルサイドクリニック）	16							16
ソーシャルワーク理論		狩野 純祐（国立障害者リハビリテーションセンター）	16							16
児童発達支援論		高橋 潔（鉄道弘済会） 五味 洋一（群馬大学）	8 8							16
生涯発達論		川淵 竜也（国立障害者リハビリテーションセンター）	16							16
発達障害支援論	家族支援		白馬 智美（横浜市総合リハビリテーションセンター） 長嶺 麻香（横浜市総合リハビリテーションセンター） 藤巻 鉄士（練馬区立大泉障害者地域生活支援センター）	8 8 16			16			
	就労支援		学院講師	16			16			
	強度行動障害		山本 良典（東京都心身障害者福祉センター）	16			16			
	性と支援		工藤 宏子（文教大学）	16			16			
	虐待		佐々木 茜（国立のぞみの園） 牛田 卓（国立のぞみの園） 柊屋 二郎（東京医科大学）	12 4			16			
	触法・非行									
	研究方法		渡邊 雅俊（国立障害者リハビリテーションセンター）	16			16			
	支援技法	概論	川淵 竜也（国立障害者リハビリテーションセンター）	4			44			
		TEACCH	諏訪 利明（川崎医療福祉大学）	16						
感覚刺激と感覚運動		戸川 鎮男（秩父学園）	8							
行動障害		大永 篤（弘済学園）	8							
障害スポーツと余暇		野村 一路（日本体育大学）	8							
発達障害演習	個別支援計画		川淵 竜也（国立障害者リハビリテーションセンター） 加賀 晃樹（国立障害者リハビリテーションセンター）	20			20			
	コミュニケーション支援		東江 浩美（九州保健福祉大学） 知念 洋美（Coco-on） 田中 里実（国立障害者リハビリテーションセンター）	8 4 8			20			
		スーパービジョン	川淵 竜也（国立障害者リハビリテーションセンター）	20			20			
		カウンセリング	金子 絵里乃（日本大学）	20			20			
	面接技法		平間 一樹（警察庁科学警察研究所） 古橋 健悟（警察庁科学警察研究所）	8			8			
	アセスメント	ABA	清水 直治（国立障害者リハビリテーションセンター）	8			20			
		Vineland II	竹内 康二（国立障害者リハビリテーションセンター）	12						
	多職種連携	自立支援協議会	福岡 寿（学院外部講師）	4			20			
		発達障害	松上 利男（北摂杉の子会）	4						
		医療、教育、福祉の連携	西牧 謙吾（国立障害者リハビリテーションセンター）	4						
		地域連携	酒井 康年（うめだ・あけぼの学園）	8						
事例研究	施設		林 克也（けやきの郷）			8	40			
	地域		福島 美彩紀（おれんじハウス）			8				
	学校		佐々木 仁子（埼玉YMCA）			8				
	児童		中村 みゆき（ライフ・ステージ・サポートみえ）			8				
	幼児		立松 英子（全国療育相談センター）			8				
実 習	療育実習／職場モニタリング実習※		児童指導員科教官			94	94			
特別講義	研修会		研修会講師（国立障害者リハビリテーションセンター）			160	166			
	法学Ⅱ		移行支援専門官（子ども家庭庁）	2						
	法学Ⅲ		知的障害専門官（厚生労働省）	2						
	法学Ⅳ		発達障害専門官（厚生労働省）	2						
特別研究	（事例研究／文献・調査研究）		児童指導員科教官			40	40			
合 計				318	188	334	840			

※全カリキュラム時間の2/3以上を受講する

※A. 療育実習

- ・ インターク面接、実習前面接、療育5回(10月～12月の土曜日半日)、ケースカンファレンス1回
- ・ 病院での診察、発達検査、面談などへの同席(11月中旬予定)

B. 職場モニタリング実習

- ・ 研修成果活用のための職場アセスメントやプランニング
- ・ 3月実施(研修のまとめと4月に向けた準備)